

一九九六年四月に全日信販（当時・平田敏量社長）がAMD Aカードを発行した。

カード使用による総額の0・5%がAMD Aの人道支援活動に寄付される。小嶋光信氏率いる両備グループの全社員が加入してくれた。災害あれば「AMD Aは必ず来る」伝説の確立は、定期的な募金があつてこそ可能である。関係者の方々にあらためて感謝したい。

AMD A代表

菅波 茂

二〇〇一年一月に一万八千人の死者が出たインド西部大地震が発生。日本、インド、ネパール支部によるAMD A多国籍医師団を派遣。被災地では、人力でがれきの中の救出作業を行っていた。

ウラジオストクから「イリュージン76」を岡山空港にチャーターした。大本組と蜂谷工業の協力を得て、十二才のシヨベルカー二台と多数の毛布などを載せて出発する。

直前に難問が発生した。航空機の所有者から「機体の損傷を防ぐためにシヨベルカーの運転士を乗せる」と。

天は我を見捨てず。パスポートを持っていく人が岡山空港の地上業務を担う両備バスにいた。大野耕四郎氏だった。小嶋氏に電話を入れた。「いいですよ」の回答。大地凍り付くシベリアから積雪のトルクメニスタンを経て、南国のアーメダバード空港でシヨベルカーは無事、降ろされた。

AMD Aの理事として、AMD Aの世界的な活動を静かに支えている小嶋光信氏に感謝したい。

岡山空港を舞台としたAMD Aの活動には、自治体に加えて多くのボランティアの協力があった。サハリン大地震、中国雲南省大地震、インド西部大地震である。阪神大震災の経験も加えると、「岡山は弱者が存」の危機に瀕した時に動く「精神風土」がある。「国境を超える福祉の精神」でもある。